

※下書き用紙に表示している内容は2019年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

【用紙①】

本用紙は16ページ（A3サイズ4枚）により構成されています。「奨学金案内」冊子及び【用紙②】より外しご利用ください。

2019年度 スカラネット入力下書き用紙

（大学院・法科大学院）

独立行政法人 日本学生支援機構

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」（以下「奨学金案内」）を熟読し、申込内容を決めてください。

「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを点検した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷して、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏名	学籍番号	研究科の専攻のコード	学校からの指示がある場合のみ記入してください。
受付番号			入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。必ず記入しておいてください。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の2点は、必ず手元に用意してください。

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザーIDとパスワード）
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子15ページに貼り付けてください。）

スカラネット用ホームページアドレス（URL） <https://www.sas.jasso.go.jp/>
 受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

文字入力について

- 旧字体や複雑な文字入力は、次のとおりの取扱いとなります。
 - 「吉」、「廣」、「祐」、「角」、「邦」などの文字は、表示される場合もありますが、システム上受付できません。
 - 該当する文字の新字体「吉」、「廣」、「祐」、「角」、「邦」などで入力してください。
 - 新字体が無い場合は、カタカナで入力してください。
 - カタカナの「ヲ」は、表示される場合もありますが、カナ氏名欄にはシステム上入力することができません。代わりに「オ」と入力してください。なお、漢字氏名欄にはひらがなの「を」・カタカナの「ヲ」ともに入力が可能なので、これらの文字を入力してください。
- 外国人氏名の入力は、次のとおりの取扱いとなります。
 - ファーストネームとミドルネームはまとめて入力してください。
 (例：奨学 ジョン 太郎 ⇒ 奨学 ジョン太郎)
 - 氏名が全てカタカナの場合は、漢字氏名欄・カナ氏名欄とも、全てカタカナで入力してください。これ以外の場合は、①(例)のように入力してください。
 - 漢字氏名の姓・名は各5文字、カナ氏名の姓・名は各15文字まで入力できます。制限文字数を超える場合は、入力できる文字数まで入力してください。(氏名が途中で途切れても構いません。)
 (例：アレクサンドリアイクエイホセマナリリカ カルロス ⇒
 漢字氏名：アレクサン カルロス カナ氏名：アレクサンドリアイクエイホセマ ナリリカカルロス)

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、**1**ページ「文字入力について」を参照して文字を入力してください。

ログイン

あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、「ログイン」ボタンを押してください。
 (注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

パスワードはスカラネット入力時は非表示になります。
 入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

確認書兼同意書の提出

あなた（あなたが未成年（20歳未満）の場合は、あなたと親権者または後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名・押印した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
 - 個人情報情報の取扱いに関する同意条項
- ※「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。
- 提出しました。
 提出していません。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等（保証委託約款を含む）を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

了承します

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。
 学校に「確認書兼同意書」を提出した後、再入力してください。

規定等の表示を行わないと、次の画面へ進むことができません。

「了承します」にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

規定等を表示し、「了承します」にチェックを入れると活性化します。

奨学金学種（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金の貸与を受けたいですか。

課程を選択してください。

課程：大学院を選択した場合の例

<奨学金学種（学校）の選択>

あなたはどの課程で奨学金の貸与を受けたいですか。

申込み奨学金(1),(2),(3)または(4)を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

- (1) 予約採用
- (a) 国内の大学院への進学予定者
 来年度国内の大学院へ進学を予定している人は申込みことができます。
 - (b) 海外の大学院への進学予定者
 来年度海外の大学院へ進学を予定している人は申込みことができます。
- (2) 定期採用（1次又は2次）
- 現在在学している大学院での奨学金を申込みことができます。
- (3) 緊急採用・応急採用
- 過去1年以内に主にあなたの家計を支えている人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みことができます。
 学校で申込資格を確認してください。
- (4) 第二種奨学金（短期留学）
- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。
 現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
 この「下書き用紙」及び「奨学金案内」では、(2)または(3)を選択した場合について説明しています。

1/8

A-日本学生支援機構奨学金の案内

- 第一種奨学金
 無利息の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- 第二種奨学金
 利息付きの奨学金（在学中は無利息）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

緊急採用・応急採用の申込みをする人は、緊急採用・応急採用の案内文が表示されます。

D-あなたの在学情報

1. 大学院

(1) あなたの大学院名を確認してください。 (1) ×× 大学大学院

(2) あなたの学籍（学生証）番号を記入してください。
 (2) (半角英数字記号)

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号に英数字以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(3) あなたの在学している課程を選択してください。 (3)

法科大学院の人は
 (3) あなたは法科大学院の課程に在学していますね。○はい ○いいえと表示されます。

(4) あなたの在学している研究科を選択してください。 (4)

(3) (4) はプルダウンに表示された中から選択してください。

(5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。
 (注) 専攻コードについては学校へ確認の後記入してください。 (5) (半角数字)

(5) 学校からの指示がない場合は未入力でもかまいません。

(6) 年次を記入してください。 (6) (半角数字) 年次

(6) 下記に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質年次を入力してください。
 (例) ○一貫制博士課程の3年次 → 3 年次
 ○2年次休学のため3年次へ進学できなかった場合 → 2年次
 実質年次がわからない場合は学校に確認してください。
 長期履修課程に在学する人は、学校の指示に従い入力してください。

(7) 昼夜課程を選択してください。 (7) ○昼 ○夜 ○通信 ○昼夜開講

(7) 通常は「昼」または「夜」を選択します。昼夜開講は該当者のみ選択してください。

(8) あなたの入学年月を記入してください。
 (注) 入学年月（特に編入学者）は必ず学校へ確認の後記入してください。
 (8) 西暦（半角数字4桁） 年 月入学

(9) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。
 (9) 西暦（半角数字4桁） 年 月修了（見込）予定

(10) あなたの修業年限を記入してください。 (10) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2019年4月現在 1年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
2年	2019/4	2021/3
3年		2022/3
4年		2023/3
5年		2024/3

2019年4月現在 3年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
3年	2017/4	2020/3
4年		2021/3
5年		2022/3

参考

(9) 通常は正規の修了予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2021年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の修了予定年月ではなく、今現在の修了予定期を入力してください（左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください）。
 なお、年度途中修了など特別な事情により、修了月が3月以外になる研究科に在籍する場合は学校に確認してください。

2019年4月現在 2年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
2年	2018/4	2020/3
3年		2021/3
4年		2022/3
5年		2023/3

2019年4月現在 4年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
4年	2016/4	2020/3
5年		2021/3

2019年4月現在 5年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
5年	2015/4	2020/3

(10) 「修業年限」とは、あなたの課程が何年課程のものかという意味です。
 ※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。
 長期履修課程に在籍している場合も、修業年限はあくまで標準修業年限を入力します。長期履修については「奨学金案内」9ページを参照。

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

E-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1) ▼

修士課程	5万円	8万8千円
博士課程	8万円	12万2千円

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。貸与月額は「奨学金案内」6ページを参照してください。スカラネット入力時は、あなたの情報から判定された月額が表示されます。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

〔注〕所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証に加入」になります。

(2) 所得連動返還方式 定額返還方式

春の定期採用の申込者の第一種奨学金の貸与始期は2019年4月となります。

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」11ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

(3) はい いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種・同一課程で貸与を受けた

第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。 奨学生番号 ▼ (半角数字)

過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

E-奨学金貸与額情報 1. (3) で「はい」と答えた人に表示されます。

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

〔注〕制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

同意します

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。

(4) はい いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。

(半角数字)

第一種奨学金の再貸与制度とは？

過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学校区分（下表【大学院の課程の区分】参照）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。「奨学金案内」9ページも参照してください。

〔注〕過去に大学院で第一種奨学金の貸与を受けたことがない人や、修士・博士前期課程にて第一種奨学金の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合は、再貸与制度には該当しません。

〔大学院の課程の区分〕

区分	左の区分に含まれる課程等
修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分
博士課程相当	博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※6年制薬学部基礎を置く薬学系大学院博士課程（4年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取扱います。

4/8

G-保証制度

1. あなたが選択する保証制度について教えてください。
- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
 - (2) 機関保証に加入します。

希望する保証制度を選択してください。
 なお、今回第一種奨学金の貸与を希望し、かつ 2/8 画面 **E-奨学金貸与額情報** にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証に加入」となります（「連帯保証人・保証人を選任」のボタンは押しません）。「奨学金案内」12 ページも参照してください。

併願または併用で申し込み（2/8 画面 **C-奨学金申込情報** にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7) を選択した場合）、かつ 2/8 画面 **E-奨学金貸与額情報** にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証に加入」となります。また、第二種奨学金の保証制度はこの画面で選択します。

4/8

G-保証制度

1. 第一種奨学金についてあなたが選択する保証制度について教えてください。
- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。（ボタンを押せません）
 - (2) 機関保証に加入します。
- 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証に加入」になります。
2. 第二種奨学金についてあなたが選択する保証制度について教えてください。
- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
 - (2) 機関保証に加入します。

5/8

H-あなたの返還誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。
- (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。
 - (2) あなたの性別を選択してください。 (2) ○男 ○女
 - (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定
 - (4) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。
- (4) (郵便番号) (半角数字) -
- 住所 1 (自動入力)
- 住所 2 (番地以降) (全角文字)
- (5) あなたの電話番号を記入してください。 (5) (半角数字) - -
 - 携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) - -
 - (6) メールアドレスをお持ちの方はアドレスを半角60文字以内で記入してください。
 - (6)

B-誓約欄 で入力した姓名が表示されます。

B-誓約欄 で入力した生年月日により判定されます。

(4) 住民票に記載されている住所を事前に確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所 1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 1」に表示された住所以降を「住所 2」に入力してください。
 ※下記の住所の入力例を参照してください。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

メールアドレスの入力は不要です。

住所の入力例

(郵便番号) - ←押下

注意！
 表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
 ○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
 ○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降) 機構ハイツ 505

- 注意！**
- ※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。
 入力漏れがあると次の画面に進めません。
 - ※番地以降のない住所は、住所 2 欄に全角で「.（ピリオド）」を入力してください。
 - ※住所 2 欄には、住所 1 欄の表示部分を入力しないでください。
 上記例の場合、住所 1 欄で「1丁目」を選択し、住所 2 欄に誤って「1丁目 99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目 99-9 ……」となります。

重要
 英数字やハイフン、スペースの「全角・半角」に誤りがあると進めません。

※「**G-保証制度**での選択」によって、**10**～**11**ページの記入する場所が変わります。

「連帯保証人・保証人を選任します。」
を選択した人



下記～**9**ページの「連帯保証人・保証人について」を
読んだうえで、**10**ページの「2.連帯保証人と保証人
について」を記入してください。

「機関保証に加入します。」
を選択した人



11ページの「3.本人以外の連絡先について」を
記入してください。

連帯保証人・保証人について

G-保証制度で「連帯保証人・保証人を選任します。」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、申し出により認められる「分別の利益」等の権利があります（連帯保証人にはありません）。

詳しくは、「奨学金案内」17ページを参照してください。

また、下表及び**9**ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。確認欄で**全て**「はい」にチェックをつけることができる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、**10**ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、**一つでも「いいえ」に該当する項目があった**場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の person を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、**G-保証制度**で「機関保証に加入します。」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。**スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。**

連帯保証人の選任条件		確認欄	
(1)	<p>【あなたが未成年の場合】選任した連帯保証人はあなたの親権者（親権者がいない場合は未成年後見人）です。</p> <p>【あなたが成人している場合】選任した連帯保証人はあなたの父母です。父母がいない場合は、4親等以内の親族です。</p> <p>※選任した連帯保証人が父母または4親等以内の親族でない場合、その連帯保証人が9ページの【貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる条件】に合致することを確認し、その「証明書類」を用意して、「返還保証書」、返還誓約書と共に提出可能です。</p>	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(2)	選任した連帯保証人は、あなたの配偶者・婚約者ではない方です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(3)	選任した連帯保証人は、未成年者・学生・債務整理中（破産等）ではない方です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(4)	<p>【あなたが貸与終了時（貸与終了月の末日時点）に満45歳を超える場合】選任した連帯保証人は貸与終了時（貸与終了月の末日時点）に60歳未満の方です。</p> <p>(注)あなたが貸与終了時に満45歳を超えない場合は、「はい」にチェックしてください。</p>	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(5)	連帯保証人の印鑑登録証明書と収入に関する証明書類を用意して、返還誓約書と共に提出可能です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>

保証人の選任条件		確認欄	
(1)	選任した保証人は、あなた及び配偶者の父母以外の方です。 ※「離婚により親権を失った父母」「養子縁組により親権を失ったあなたの実父母」「配偶者の父母」を例外的に選任するにあたり、その保証人があなた及び連帯保証人と別生計であり、下記の【貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる条件】に合致することを確認し、その「証明書類」を用意して、「返還保証書」、返還誓約書と共に提出可能です。 また、その保証人は「あなたとの続柄」を「父母」ではなく「その他（知人）」として入力します。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(2)	選任した保証人は、あなた及び連帯保証人と別生計の方です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(3)	選任した保証人は、あなた又は連帯保証人の配偶者・婚約者ではない方です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(4)	選任した保証人は、 <u>4親等以内の親族（おじ・おば・兄弟姉妹等）</u> です。 ※選任した保証人が4親等以内の親族でない場合、その保証人が下記の【貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる条件】に合致することを確認し、その「証明書類」を用意して、「返還保証書」、返還誓約書と共に提出可能です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(5)	選任した保証人は、スカラネットに入力する誓約日時点（平成31年4月以降）で <u>65歳未満の方</u> です。 ※選任した保証人が誓約日時点で65歳以上の方の場合、その保証人が下記の【貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる条件】に合致することを確認し、その「証明書類」を用意して、「返還保証書」、返還誓約書と共に提出可能です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(6)	選任した保証人は、 <u>未成年者・学生・債務整理中（破産等）</u> ではない方です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(7)	【あなたが貸与終了時（貸与終了月の末日時点）に満45歳を超える場合】選任した保証人は貸与終了時（貸与終了月の末日時点）に60歳未満の方です。 (注)あなたが貸与終了時に満45歳を超えない場合は、「はい」にチェックしてください。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
(8)	保証人の印鑑登録証明書を用意して、返還誓約書と共に提出可能です。	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>

【貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる条件】

	条件	証明書類
A	給与所得者：年間収入金額 \geq 320万円	所得証明書、源泉徴収票、年金振込通知書等（注1、注2）
	給与所得者以外：年間所得金額 \geq 220万円	所得証明書、確定申告書の控等（注2）
B	預貯金残高 \geq 貸与予定総額	預貯金残高証明書（注3）
C	固定資産の評価額 \geq 貸与予定総額	固定資産評価証明書（注3）

(注1) 年金収入は給与として取り扱います。

(注2) 証明書類は、取得できる直近のものを提出してください。

(注3) B-誓約欄で入力した誓約日の3か月前以降に発行されたものを提出してください。

上記のA～Cを組み合わせると貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると証明する場合は、以下の条件となります。

組合せ	条件
A+B	(預貯金残高 \div 16年) + 年間収入 \geq 320万円（注4）
A+C	(固定資産の評価額 \div 16年) + 年間収入 \geq 320万円（注4）
B+C	預貯金残高 + 固定資産の評価額 \geq 貸与予定総額
A+B+C	(預貯金残高 + 固定資産の評価額) \div 16年 + 年間収入 \geq 320万円（注4）

(注4) 320万円は給与所得者の場合であり、給与所得者以外の場合は220万円となります。なお、給与所得者のうち給与収入以外の所得もある者については、年間所得金額（年間所得 \geq 220万円）により判断してください。

※連帯保証人・保証人が選任の条件に合致するか判断がつかない場合は、必ず学校へ相談してください。

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

2. 連帯保証人と保証人について

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・原則として、父母・兄弟姉妹またはおじ・おば等にしてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人は、連帯保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

	姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) ▼ 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c) ▼

(d) その住所

- ・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
- ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号 (e) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人は、保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

	姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) ▼ 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c) ▼

(d) その住所

- ・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
- ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号 (e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（B-誓約欄）で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

G-保証制度にて「(1)連帯保証人・保証人を選任します。」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず8、9ページを確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
※7ページの住所の入力例を参照してください。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

勤務先がない場合は「無職」、自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

あなたからみた続柄です。
(例) おじ、おば
※以下の場合、「その他（知人等）」と記入（選択）してください。
・離婚により親権を失った父母
・養子縁組により親権を失った本人の実父母
・配偶者の父母
（「父（母）」や「その他（4親等以内）」を選択しないでください。）

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
※7ページの住所の入力例を参照してください。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

勤務先がない場合は「無職」、自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

I-あなたの所得情報

1. あなたの収入について該当する項目を記入してください。

(1) 定職・アルバイトについて該当する項目を記入してください。

	勤務先	職業	収入金額（年額・税込）		本年見込 就労時間
			前年	／本年見込	
定職	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
アルバイト	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
父母等からの給付額			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
奨学金（現在申込中のみは除く）			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
その他の収入（内容）（全角20文字以内）	<input type="text"/>		<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	

I-あなたの所得情報については、「奨学金案内」27～29ページを参照のうえ入力してください。

(1) 基本的に前年の収入のみを入力してください。ただし本年見込の収入金額が、前年に対して変動する場合に限り、前年の収入に加えて本年見込の収入金額も入力してください。

○前年の収入金額と本年見込の収入金額とで増減がある場合は、本年見込の収入金額で選択します。

※緊急採用・応急採用の申込みをする人は、前年欄に家計急変前の収入金額を、本年見込欄に家計急変後の収入金額（年収見込）を入力してください。

預貯金の取り崩し等が該当します。

(2) 定職又は週21時間以上のアルバイトに従事している人のみ記入してください。

(a) 退職・休職もしくはアルバイトの週当たり就労時間を21時間未満に減少する意思がありますか。

(a) ○あります ○ありません

(b) 「あります」と答えた人はその予定時期を記入してください。

(b) 西暦（4桁）年月日

(3) 配偶者のいる人はその氏名及び年齢を記入してください。

(3) 氏名 姓 名

年齢 歳

(4) 配偶者の収入状況（定職収入のみ）を記入してください。

	勤務先	職業	収入金額（年額・税込）	
			前年	／本年見込
給与所得の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
給与所得以外の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

給与所得の場合は、源泉徴収票の「支払金額」を入力してください。

給与所得以外の場合は、確定申告書の「所得金額」を入力してください。

2. あなたの特記情報について記入してください。

災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当の

ものを選択してください。

▼

緊急採用・応急採用で申し込む場合、プルダウンから該当の災害を選択してください。

注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

奨学金の貸与を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には、振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

8/8

L-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. 銀行等 ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

- (1) 右のボタンを押して金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)
- (2) 金融機関名を選択してください。 (2)
- (3) 右のボタンを押して支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)
- (4) 支店名を選択してください。 (4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。

確認用

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

（口座名義人は本人に限ります）

3. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

2. 記号-番号 記号 - 番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用 記号 - 番号

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

（口座名義人は本人に限ります）

3. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

口座名義人欄の入力について（B-誓約欄で入力したカナ氏名と同一である必要があります）

※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。

※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入れし、16文字以降は名に入力してください。

※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』と『名前』をスペースなしで入力してください。

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名で記入しましたか？
- 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか？
- 収入金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？（誤りがあると振込みできません）



重要

入力完了後に表示される受付番号を下書き用紙の ① ページに記入してください。

※ 通帳などのコピーの貼付・提出方法については、
学校の指示に従ってください。

チェック	奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です！
① <input type="checkbox"/>	あなた本人の預・貯金口座ですか（あなた本人以外の口座は使用できません）。
② <input type="checkbox"/>	銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③ <input type="checkbox"/>	誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じですか。
④ <input type="checkbox"/>	金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※1
⑤ <input type="checkbox"/>	この通帳は、1年以内に記帳できましたか。（＝休眠口座になっていない）
⑥ <input type="checkbox"/>	信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

※2 一部の信用組合は、振込みできません。

金融機関

支店
(支店コード 3ケタ)

口座番号

口座名義人
(あなた本人)

記号

番号

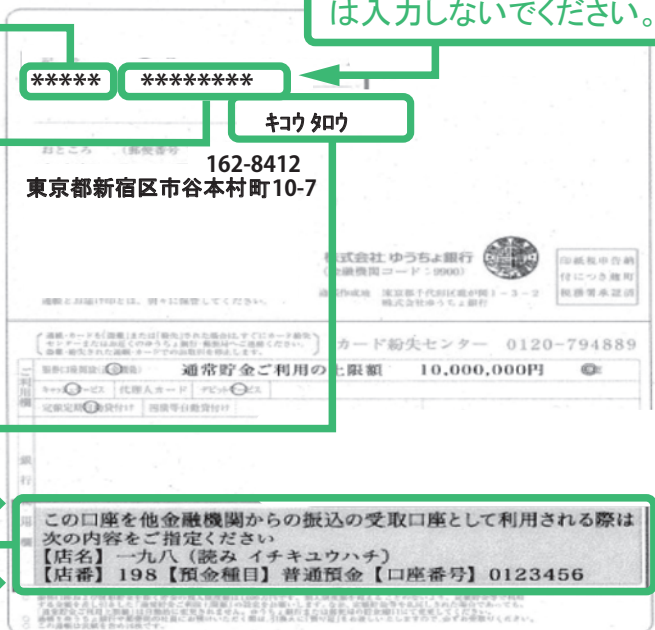
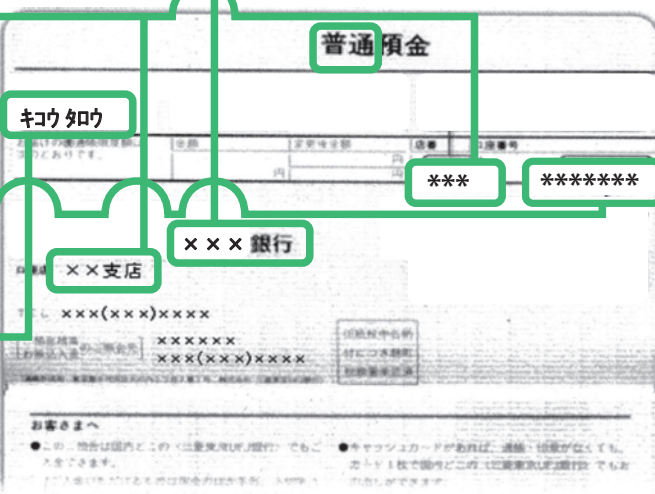
※番号が8桁に満たない場合は、
そのままの桁数で入力してください。

口座名義人
(あなた本人)

この番号では、
振込みできません

■銀行等

■ゆうちょ銀行



「記号」と「番号」の間に数字がある場合、その数字は入力しないでください。

貼り付け【通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー（A4サイズ）】

□一緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つ選択してください。

注) (5) ~ (8)、(10) ~ (12) までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したものの。

(15) は家計支持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

- (1) 家計支持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
- (2) 家計支持者が死亡したため。
- (3) 家計支持者が離別したため。
- (4) 家計支持者が破産したため。
- (5) 病気
- (6) 事故
- (7) 会社倒産
- (8) 経営不振
- (9) その他家計支持者の給与収入が激減したこと等によるため。
- (10) 火災
- (11) 風水害
- (12) 震災
- (13) 災害救助法適用者であるため。
- (14) 学校廃止
- (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。

2. 西暦（半角数字4桁）年月

3. 緊急採用（第一種）奨学金を申込み人のみ、希望する貸与始期を記入してください。

3. 西暦（半角数字4桁）年月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

- (1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
- (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
(年間の支出金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。)
- (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。

(家屋・家財復旧費、医療費等)

	事由	金額
これまでに	(例：台風による家屋の損壊) <input type="text"/>	<input type="text"/> 万円
	全角10文字以内	
これから	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円

(注)
この情報欄は、申込画面においては7/8画面のK-家庭事情情報欄の後に表示されます。
緊急採用・応急採用の申込者のみ記入してください。

(9) その他上記以外の事由により給与収入が減少した場合選択してください。

(13) この事由により申込みをする場合は被災（罹災）証明書を学校へ提出する必要があります。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可）以降を選択してください。
休学、留年に相当する間を貸与始期にすることはできません。詳しい条件は「奨学金案内」8ページを参照。

応急採用（第二種）を申込み人の貸与始期は、**6**ページ E-奨学金貸与額情報 2. (2) に記入してください。

上記1. (家計急変の事由) で (1) ~ (4)、(7) ~ (9) を選択した人は (1) を選択してください。(5) ~ (6)、(10) ~ (12) を選択した人は (2) を選択し、A欄を記入してください。
(13) ~ (15) を選択した人は (3) を選択しA欄を記入してください。

病気・事故・火災・風水害・震災により生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、学校の指示に従い認定を受け、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの支出見込額を入力してください。

※例えば、家計急変が2019年5月、申込が2019年8月の場合は以下の通り入力してください。

入力項目	該当期間	例
これまでに特別に支出した額	家計急変時～申込時点までにすでに支出した額	2019年5月～2019年8月
これから特別に支出が見込まれる額	申込以降～家計急変から数えて12か月後までに支出が見込まれる額	2019年9月～2020年4月